

# The 20th International Conference on Precision Engineering (ICPE2024)

## 国際会議報告

大阪大学 大学院工学研究科 機械工学専攻  
准教授 水谷 康弘  
(2024 年度 国際会議等準備及び開催助成 AF-2024250-V1)

ICPE2024(The 20th International Conference on Precision Engineering)が、2024 年 10 月 23～26 日の日程で宮城県仙台市の東北大学青葉山東キャンパス内のセンタースクエアを会場として開催された。1994 年に東京で開催された第 1 回 ICPE で谷口紀男教授が”Nanotechnology”という言葉を生み出して以来、20 回の開催を数えることができたことから、”The 50th Anniversary of ICPE & Nanotechnology”をキープレーズとして本会議が実行された。ICPE2024 には 26 の国と地域から 657 名以上が参加し 434 件の発表があった。また、参加者の約半数は日本以外からの参加者であった。

23 日は東北大学青葉山キャンパスにて 2024 年 4 月より運用が開始された NanoTerasu の見学や松島観光、蔵王観光を含む 4 つのコースに分かれてテクニカルツアーが実施された。その後、夜にはメトロポリタンホテル仙台で Welcome Reception が催された。24 日は、Plenary Speakers の 3 名をはじめ、15 名の Keynote Speakers、35 名の Feature Speakers を招待講演が実施されるとともに、精密工学の幅広い分野を網羅する最先端の研究成果に対して活発な議論が行われた(図 1)。25 日と 26 日は 23 の Organized Sessions と 16 の General Sessions で発表が行われ、全日程合わせて 434 の論文が発表された。

また、13 社をスポンサーとして迎え、12 社による企業展示が行われた。25 日夜に行われた Banquet では、仙台すずめ踊りと津軽三味線が披露され、日本の文化を体験することができ外国からの参加者に評判が高かった。26 日夜に行われた Farewell Party にて各受賞者が発表された後、ICPE2024 は盛大に幕を閉じた(図 2)。

次回の ICPE2026 は愛知県での開催が予想されている。今から次回が開催が楽しみになる国際会議であった。ICPE2024 会議開催にあたり、ご尽力いただきました関係者各位に謝意を表して報告書とする。



図 1: ICPE2024 の様子



図 2: 24 日オープニングセレモニー直後に撮影された集合写真